

プログラム



The Japanese Society of Pathology

7 月 28 日 (金)

12:00～ 受付 【2 階 彩雲前】

13:00～13:05 開会のご挨拶 安井 弥

13:05～13:15 イントロダクション 世話人 豊國伸哉

レクチャー1～3

座長 坂元亨宇

13:15～13:55 レクチャー1 親電子化合物とレドックス
熊谷 嘉人 (筑波大学医学医療系 環境生物学)

13:55～14:35 レクチャー2 酸化ストレスと神経変性疾患
柴田 亮行 (東京女子医科大学医学部 病理学)

14:35～15:15 レクチャー3 C 型肝炎ウイルス排除後の肝疾患の新たな課題
日野 啓輔 (川崎医科大学 肝胆膵内科学)

15:15～15:45 コーヒーブレイク

レクチャー4～5

座長 小田義直

15:45～16:25 レクチャー4 肝癌・肺癌の NGS 解析からの展望
柴田 龍弘 (東京大学医科学研究所 ゲノム医科学)

16:25～17:05 レクチャー5 マクロファージを標的としたポリフェノール代謝物の
構造変換と機能性発現メカニズム
河合 慶親 (徳島大学大学院医歯薬研究部 食品機能学)

17:05～17:45 ショートプレゼンテーション
ポスター演題 (25 題)

18:00～19:30 夕食 【彩雲北 (2 階)】

19:30～21:00 ポスター演題討議+懇親会 【彩雲南 (2 階)】

21:30～ フリーディスカッション 【はぎ・きく (1 階)】

7 月 29 日 (土)

7:00～8:30 朝食 【ガーデンレストラン (1 階)】

8:35～ 記念写真撮影 【1 階 芝の庭】

レクチャー 6～8	座長 山田泰広
-----------	---------

8:50～9:30 レクチャー 6 酸化ストレスとプロテインキナーゼ
竹腰 進 (東海大学医学部基礎医学系生体防御学)

9:30～10:10 レクチャー 7 触媒性 2 価鉄の開発と応用
平山 祐 (岐阜薬科大学 薬化学)

10:10～10:50 レクチャー 8 抗酸化酵素ペルオキシレドキシン(PROX)4 と
metabolic syndrome
山田 壮亮 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 病理学)

10:50～11:00 コーヒーブレイク

レクチャー 9～10	座長 森井英一
------------	---------

11:00～11:40 レクチャー 9 Keap1-Nrf2 システムと発がん
本橋 ほづみ (東北大学加齢医学研究所 遺伝子発現制御)

11:40～12:20 レクチャー 10 低温プラズマ技術の医療・生物応用
豊國 伸哉 (名古屋大学大学院医学系研究科 生体反応病理学)

12:20～12:30 閉会・優秀ポスター賞表彰
優秀ポスター賞表彰 世話人 豊國伸哉
閉会のご挨拶 日本病理学会研究推進委員会委員長 田中伸哉

ポスター発表

グループ①				コーディネーター	近藤英作	(新潟大学)
P-1	The critical role of antioxidative protein, peroxiredoxin 4 (PRDX4), in the progression of hepatocellular carcinoma			Xin Guo (郭 シン) 鹿児島大学医歯学総合研究科 腫瘍学講座病理学分野		
P-2	Protective effects of peroxiredoxin 4 on liver injury induced by bile duct ligation			Jing Zhang (張 晶) 鹿児島大学医歯学総合研究科 腫瘍学講座病理学分野		
P-3	食道扁平上皮癌組織免疫染色画像の疑似カラー化によるマクロファージ形態とシグナル伝達分子局在の可視化			西尾真理 神戸大学大学院医学研究科 病理学講座病理学分野		
P-4	p53 の免疫染色の態度が p53 の germline mutation を検出する契機となった小児脳腫瘍の一例			石井真美 大阪市立総合医療センター 病理診断科		
P-5	生体イメージングを用いた ERK, PKA 活性による動脈血栓制御メカニズムの解明			平塚拓也 京都大学医学研究科 創薬医学講座		
P-6	肺腺癌における GPI アンカー型膜タンパク質 CD109 の機能解析			滝 哲郎 名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学		
グループ②				コーディネーター	池田栄二	(山口大学)
P-7	レックリングハウゼン病 (神経線維腫 1 型) 腫瘍増殖に影響を与える炎症及び増殖性サイトカインと MnSOD 発現の関係性			迫村拓也 山口大学大学院医学系研究科 保健学専攻生体情報検査学領域		
P-8	胃癌における Annexin A10 発現の重要性に関する検討			石川 洸 広島大学 分子病理学研究室		
P-9	胃癌における KIF23 の発現解析とスフェロイド形成への影響			浅井竜一 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 分子病理学研究室		
P-10	アルギニン合成律速酵素 ASS1 による mTOR シグナルを介した腫瘍浸潤制御機構			大島健司 大阪大学大学院医学系研究科 病態病理学講座		
P-11	川崎病様マウス血管炎における IgM 型自然抗体の関与			中村明宏 京都府立医科大学大学院医学研究科 小児循環器腎臓学講座 *現) 京都府立医科大学大学院医学研究科中央研究室バイオイメージング部門		
P-12	非アルコール性脂肪肝炎モデルマウスを用いた肝細胞癌の発がんメカニズム解析			藤岡正喜 大阪市立大学大学院医学研究科 分子病理学		

グループ③	コーディネーター	宮崎龍彦	(岐阜大学)
-------	----------	------	--------

- P-13 製菓業に携わった患者に発症した肺タルク症とそれに併存した肺癌の一例
小林一博 岐阜大学医学部附属病院 病理部
- P-14 生体内腫瘍における R-loop 形成亢進の特徴と意義
栗田菜花 新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子細胞病理学分野
- P-15 リン酸塩尿性間葉系腫瘍の組織学的・遺伝学的レビュー
山田裕一 九州大学大学院医学研究院 形態機能病理
- P-16 Case report: Immunoglobulin G4-related disease involving uterus.
小澤享弘 名古屋大学医学部医学系研究科 臓器病態診断学講座
- P-17 新規デセン酸誘導体は Nrf2 と ATF4 の協調作用により抗酸化能を増強する
井上雄貴 岐阜薬科大学 臨床薬剤学
- P-18 細胞外抗酸化酵素 SOD3 発現制御機構としての DNA/ヒストンメチル化修飾
神谷哲朗 岐阜薬科大学 臨床薬剤学

グループ④	コーディネーター	横崎 宏	(神戸大学)
-------	----------	------	--------

- P-19 肺腺癌における低接着状態と Glucose transporter (Glut) の発現解析
吉本多一郎 自治医科大学 統合病理学部門
- P-20 Lrrc34(Leucine rich repeat containing 34)は唾液腺組織幹/前駆細胞を標識する
石田和久 岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学
- P-21 合成高分子ハイドロゲルによる癌幹細胞性誘導とリプログラミングの解析
石塚大暉 北海道大学医学部 医学科 5 年
- P-22 プラズマ活性培養液の作製時の雰囲気ガスが与える抗腫瘍効果への影響
細井祐吾 名古屋大学大学院工学研究科
- P-23 繊維状物質は鉄過剰を介して炎症細胞の細胞死を誘導する
前田勇貴 名古屋大学大学院医学系研究科 生体反応病理学
- P-24 瀉血療法はラットモデルにおける悪性中皮腫の発育を減弱する
大原悠紀 名古屋大学大学院医学系研究科 生体反応病理学
- P-25 Mutyh 欠損マウスにおける鉄ニトリロ三酢酸誘発腎発がん
赤塚慎也 名古屋大学大学院医学系研究科 生体反応病理学